# 議会報告会 記録(概要) 報告書(民生教育1班)

開催日時		令和 5 年	10 月 11 日 (水)	午前 9 時 45 分	~ 10 時 35 分		
開催場所		日光市立今市中学校					
班	員	斎藤 久幸	筒井 巌	和田 公伸	髙見 尚希		
学校・クラ	ス・人数		今市中学校 3	3年3組 31名			
議会報告会	会議員だったら、市の予算とめ(総評)						
	生征	走からの質疑・意見・拮	報告会の中で出た解決方法など				
OSNSを活力	用して、日	光の魅力を発信し住んでみる	日光市は、子育て支援について、中学生に平均以上の 支援を行っている旨を説明する 都市部からの移住に対しては、国の制度があり、100万 円の支給があることを伝える。日光市独自のものはな				
〇子供が生	まれたら、	たくさんの補助金を出す					
〇子育ての	支援をもっ	oとする					
〇婚活、合:	コン、マッテ	チングアプリを推奨する	いので、検討の余地がある。				
〇大手企業	を誘致す	<b></b>	大学や高校の新設ができれ 認識した	ば、一番であることを共通			
OスポーツI	専門の高標	交をつくる	空き家は、中学生にとっても有効活用すべき意見があり、積極的な活用を促せるようにしていきたい				
〇東武鉄道	、JRともに	三便数が少ない		2. 2. 2. 2. 2. 2.			
〇移住してる	きた人に補	<b>制助金を出す</b>	現在の日光市議会議員は、 議員には、婚活を頑張っても				
〇使っていた	ないお店な	ょどをなくして、新しい施設をつ					
〇大学設立	、大学誘致	致する					
【班としての終兵・会後の方向性】							

今回、中学生との意見交換会を行い、やはり日光市の魅力をいかに他県・他市の方にPRし、移住してもらうといった将来の日光市を考えていることに関心した。また、少子化対策についても次代の日光市を背負う若者がしっかりとした意見を持っていることは、今後の日光市が楽しみだし、私たち議員も積極的にこの問題に立ち向かっていかないといけないと感じた。今回の意見交換会を通じ今後についても、引き続き中学生との意見交換会は、続ける必要があると感じ、そのことが若者の政治離れを防ぐ手段だと思う。

#### 広報広聴委員長 様

上記のとおり報告いたします。

令和 5年 12 月 5 日

班長 斎藤 久幸

# 議会報告会 記録(概要) 報告書(民生教育1班)

開催日時	令和 5 年	11 月 13 日 (月)	) 午後 2 時 35 分	~ 3 時 25 分		
開催場所	日光市立藤原中学校					
班員	斎藤 久幸	筒井巌	和田 公伸	髙見 尚希		
<u>如</u>						
学校・クラス・人数	藤原中学校 3年1組 21名					
①議会報告会の主旨・議会の役割などをわかりやすく説明、②生徒の皆さんがもし市会議員だったら、市の予算を使い人口減少対策、どうしたら人口が増えるかについて考え発表、③議員によるまとめ(総評)						
生名	徒からの質疑·意見·拮	報告会の中で出た解決方法など				
〇駅前広場の改修や をする	廃墟となったホテルを取り壊	廃墟については、一日でも早く取り壊し、利活用の必要性を若い世代においても考えているので、市としてもスピード感をもって対応することを認識した				
〇各世帯に温泉を引	き入れ、新たなる移住者の拡	温泉を引き込むことについては、費用面で難しいと思う				
〇今まで以上の子育	て支援金を出す	現在の子育て支援金について説明を行った				
〇産婦人科を増やし、	、子供を出産する環境を整え	産婦人科の必要性を共有することができた				
〇人を呼び込むイベン	ントを開催する	今後についても、執行部に観光イベントの必要性を要望していく				
〇公共交通機関を整	備する	公共交通機関の再構築を検討する必要性を感じた				
〇スポーツができる場 をつくる	易所を整備するとともに、その	大規模スポーツの開催を誘致することは、大変有意義 であるが、費用面で困難である				

#### 【班としての総括・今後の方向性】

今回の中学生との意見交換会を通し、藤原中学校の生徒は、鬼怒川温泉の廃墟となったホテルの今後のことについて、しっかり考えていることに驚いた。私たち議員も積極的スピード感をもってこの問題に立ち向かっていかないといけないと感じた。また、少子化対策についても、今市中学校同様、しっかりした考えをもっていることにも関心した。今回の意見交換会を通じ今後についても、引き続き中学生との意見交換会は、続ける必要があると感じたし、そのことが若者の政治離れを防ぐ手段だと思う。

### 広報広聴委員長 様

上記のとおり報告いたします。

令和 5年 12 月 5 日

班長 斎藤 久幸